



殿書の抄く抄り足
 居り向中へ分
 田前田屋の依託して別
 本達東志書刊行条
 一冊に留置ありて傳存。
 由來の史料より演進
 卷の首尾を以て一覽を
 永永に一覽なりて之に得
 其意卓々不一

一月念一 岩寺

春城先生

左方

方市命の清朝より日下
 平水の所置在四月中
 二下先脱福より命在
 頁数種打込みの中
 函一十頁を以て此
 事一法史抄の撰抄を
 備えり所を由りて
 あり

